第２回　学校運営協議会

日時：令和８年１１月１１日（水）
場所：２階会議室

（１）開会

（２）会長あいさつ
・教育総務課の方にご参加いただき、「新しい学校づくり推進基本計画」を説明していただく予定です。

（３）校長挨拶
・インフルエンザでの学級閉鎖が市内でも少しずつ出てきている。校内では、なんとか学級閉鎖にはならずに過ごしている。
・先日のスポーツフェスティバルでは、雨に悩まされたが、保護者・地域の方のご協力により終えることができました。次年度は、雨の場合どうするか、より具体的に考えておきたい。

（４）「小田原市新しい学校づくり推進基本計画（答申）」について教育総務課より説明
（※配付資料参照）

〇学校と自治体の整合性を先に行う必要があるのではないか？できれば先に地域と自治体の整合性を行って欲しい。
→地域のあり方を確認しながら、それに学校が合わせていく。災害対策においても現状不整合の部分がある。そのため、地域からの申し出により、他の連合とどのようにしていくか話し合うことも大切になる。

〇地域の中でもう少し噛み砕いて考えていく必要があるかもしれない。
→市から伝えることはできないが、子どもたちのために地域がどうあるべきかを考えていく必要がある。

〇城山中にはハザードの危険個所もあるが、そこに新しい学校を作れるのか？
小学生が安心して通えるのか？説明会に参加したが「地域間調整」とあるが、どのように進めていくのかを知りたい。
→市では、９００以上の意見をまとめ、計画に反映する努力をしている。地域間調整の進め方として、地域の中に入った時にも説明会が必要になり、協議会を持つようにしていこうと考えている。案を教育委員会が示しながら話し合いを進めていこうと考えている。
→すごく長い計画になるので、避難場所のあり方も変化してくる。年に１回くらい、この計画も見直していかなければならない。

〇跡地をどのようにしていくかをある程度示してほしい。
→残す協議もあるかもしれないが、基本は廃止が中心になるだろう。

○長い計画の中で、現状の建物はこの計画実施まで使うことができるのか？今過ごしている子どもたちはどうなるのか？
→設置場所についても話し合いで変更することができる。しかし、６つの視点を総合的に考えていかなければならない。
→目先のことも考えていく必要もある。

○小中一貫校のメリットが理解できない部分がある。小中一貫が変更になることはないのか？
→小中一貫は、全市的に公平にするため変更になることはない。

○地域の中での選択ができるようにしたい。いろいろな要素を踏まえて再編のあり方を考えていかないと不都合が生じてしまう。
→施設一体だけでなく、施設隣接・併設など考え方を広げていくことも大切である。

（５）報告

ア　防災備蓄品の保管について
・アレルギーや子どもたちの好き嫌いも踏まえて、水１リットルと主食を１食、準備するように今年度は進めている。
・給食でも非常時に対応できるように準備している。
・費用は保護者負担。

イ　まちづくり委員より
通学路安全マップ・「子ども１００番の家」について
・通学路安全マップを新しいものにしている。（在校生・新１年生に配付）
・学区の危険な場所を確認している。
（まちづくり委員さんを中心に、危険箇所の改善について市に申し出る。）
・子ども１１０番も見直しを行っている。
（個人宅は難しい、事業所を中心にお願いしていく。）
→池上地区は事業所がないため、個人にお願いするしかない。
子どもたちが積極的にあいさつなど声をかけてくれるのでうれしい。
かけこみ事案はない。
個人宅については、ご高齢で難しいお宅が多い。高齢化が問題になっている。
子どもたちにもこのようなものがあることを知らせていきたい。

ウ　令和１０年度からの新学習指導要領先行実施に向けて
・教育課程の一部を学校独自で考えてよいことになっていく。
・子どもたちにどんな力を付けていったら良いのか、地域リソースはどんなものがあり、どのようにつなげていくのか、この会でも話し合っていきたい。

（６）校内参観

（７）閉会（終了後　給食試食）